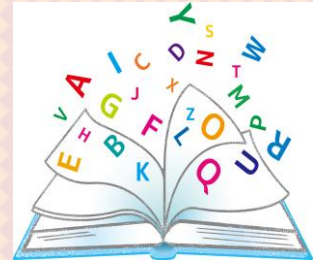


北関東三大学(茨城大学・宇都宮大学・群馬大学)と オーストラリア(ニューサウスウェールズ大学, UNSW)の オンライン交流に参加しませんか？



2020 年度に始まったニューサウスウェールズ大学 (UNSW) とのオンライン交流を今年度も実施いたします。日本側は一昨年度・昨年度に引き続き、**北関東三大学(茨城大学・宇都宮大学・群馬大学)** の合同企画です。交流相手は UNSW で**日本語(初級)**を学んでいる学部生。中には、オーストラリア以外の国からやって来た留学生もいます。

UNSW 側の目的は日本の大学生と交流し、**日本と「つながる」**ことですが、その過程で皆さんの**英語使用場面**が数多くあると推察されます。特に、UNSW の学生は日本語を学習し始めたばかりですので、この企画には日本側の学生が**英語で積極的に働きかける**ことが必要不可欠です。

この企画には、オーストラリアの学生だけではなく、北関東三大学の学生も互いに知り合う目的が含まれています。地理的には近くにいらながらも、交流する機会の少ない三大学の学生が一緒に活動していく中で、**国を超えた「異文化」**に加え、**県を超えた「異文化」**にも接することができるかもしれません。

授業以外で英語に触れたい方、国際交流や海外生活に関心のある方、留学を検討している方、自分の世界を広げたい方は、ぜひご参加ください。オンライン上ではありますが、オーストラリアの学生・隣県の学生と、**英語・日本語**を駆使しながら**協働し、学び合う**よい機会となるはずです。この企画にはこれまでに、数多くの学生が参加しています。参加者の満足度は高く、アンケート調査では次のような感想が寄せられています。

- ・自分の英語力の**自信につながり、さらに勉強しよう**という気持ちになれた。
- ・もっとうまくコミュニケーションを取れるように**英語の勉強をしたい**と思った。
- ・自分の片言な英語でも、相手は理解してくれることが多くて**とても嬉しかったし、楽しかった**ので、**これからもっと英語の学習を頑張ろう**という**前向きな気持ち**になれました。
- ・**想像以上に楽しくお話できて本当に参加して良かった**と思いました。
- ・お互いの言語が混ざっていても**楽しくお話ができる**ことが分かった。
- ・**日本語を教えながら、英語も教わる**というあまりしたことがない形だったので、このように**楽しみながら教え合う形の言語学習はとても効果がある**ように思いました。

次ページ以降に、今年度の企画の詳細をまとめました。皆様のご応募をお待ちしております。
一昨年度・昨年度の参加者も大歓迎です！

1. 交流参加者

UNSW 側：日本語（初級）の授業を履修している学部生（学年や専攻はさまざま）

※UNSW (<https://www.unsw.edu.au/>) はオーストラリアの特に優れた大学で構成される“Group of Eight”の1つです。

日本側：北関東三大学（茨城大学・宇都宮大学・群馬大学）の学部生・大学院生

2. 交流の方法及び内容

①方法：UNSW 側 2 名、日本側 2 名の合計 4 名で 1 つのグループを構成し、ZOOM 等を用いて交流

※三大学の参加者数に不均衡が生じた場合、同一大学でのペアになることもあります。

②内容：以下の例を参考にしてください。この他にもグループで話し合い、内容を決めることができます。自分のアイデアを積極的に伝えましょう。ずっと雑談でも構いません。

例 1) 同じ動画をグループで一緒に視聴し、感想を述べ合う。

例 2) 自分の趣味や特技、関心のあること、両国・各県の最近の話題（ポスト・コロナ、大学生活など）について話し合う。

例 3) オンラインのカラオケを使用して、一緒に歌を歌ってみる。

例 4) 楽器を一緒に演奏してみる。

例 5) 昼食／夕食を一緒にとりながら、懇談する。食べているものやテーブルマナーなどについて話し合う。

例 6) 料理のレシピを交換し、実際に作ってみた感想を述べ合う。

3. 交流の期間及び頻度

①期間：9 月下旬もしくは 10 月初旬～11 月中旬までの約 8 週間

②頻度：週 1 回程度（期間中 5 回以上、できるだけ多く。1 回のセッションは 30 分以上）

※同じグループのメンバー間で、都合のよい日時を交渉します。平日の夕方や土日に交流するグループが多いようです。

4. 交流の記録

交流後に、セッションの回数や内容、感想などを尋ねるアンケート調査を実施いたします。記録があると、回答しやすいので、各セッションのログをつけておくようにしましょう（詳細については、参加決定後に再度連絡いたします）。なお、一昨年度・昨年度に課していた日本側ペアによるレポート提出はありません。気軽に参加してください。

5. 応募資格

北関東三大学（茨城大学・宇都宮大学・群馬大学）に在籍する学部生・大学院生で、熱意のある方なら、どなたでも。ただし、以下の点に留意してください。

※UNSW 側は授業の一環として実施するため、成績に加味されます。このことを念頭に置き、参加決定後は最後まで交流し続けましょう。

※参加申込後・グループ決定後は、担当者やグループのメンバーから頻繁に連絡が届きます。
円滑な運営のため、メールやチャットなどは定期的に確認し、必要な場合はすぐ返信するようにしましょう。

6. 申込方法

こちらのフォーム、もしくは QR コードからどうぞ。

<https://forms.gle/TQFDPT6QKBMTFZiR7>

※各大学先着順で 40 名、募集します。申込はお早めに！



7. 問い合わせ先

【茨城大学】

田嶋 美砂子(工学部)

[misako.tajima.11@vc.ibaraki.ac.jp]

上田 敦子(スチューデントサクセスセンター)

[atsuko.ueda.atzko@vc.ibaraki.ac.jp]

【宇都宮大学】

三村 千恵子(基盤教育センター)

[chiekomimura@cc.utsunomiya-u.ac.jp]

【群馬大学】

ネウパネ プラミラ(グローバルイニシアチブセンター)

[p.neupane@gunma-u.ac.jp]

※この交流企画に関して、不明な点がありましたら、所属する大学の担当者にご連絡ください。
また、交流期間中、万が一困ったことが生じた場合も、遠慮なくご相談ください。